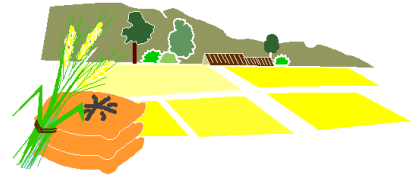


レ ス ス ン プ ラ ン

6 学年 第 4 回 (相互依存関係認識②)

テーマ : 「貿易ゲーム」



授業の目標:

- (1) 世界中の国々がそれぞれ異なった力をもっており、世界はいろいろな国々の相互依存関係によって成り立っていることに気づく
- (2) 世界中に存在する不平等や不公平の現実を実感する
- (3) 世界をいろいろな角度から見つめることができる
- (4) チームワークを育てる

用意するもの :

ALT

担当教師

- 貿易ゲームに必要なもの(国名カード、おもちゃのお金、ギザギザはさみ等)
- 貿易ゲーム用世界銀行シート

- 世界地図
- 授業前に子どもたちをグループ分けしておく (7グループ)

時間	活 動	気づいた点
5分	ALTと担当教師は挨拶する。担当教師は授業の前に子どもたちを7グループに分け、着席させておく。(先進国グループ2 : 新興産業国グループ2 : 発展途上国グループ2 : 世界銀行グループ1 ※子ども達には自分がどのカテゴリーかは教えない。※先進国グループ内の人数は、途上国グループの人数より少なくしておく。担当教師が自由に決めて良い)	
10分	子どもたちはゲームのやり方の説明を聞く。担当教師とALTは、各グループが作らなければならない製品(紙を切って作る色々な図形)に関する説明をする。そしてその製品を、グループ内の全員が協力してなるべく多く作らなければならないことを告げる。製品のサンプルは教室の前に並んでいることも教える。各グループの子ども達は、 <u>自分達に与えられた封筒の中に入っている物しか使ってはいけない</u> 。また、異なるグループは異なる材料を持っているので、製品を作るために他国(他のグループ)から材料を①買う②借りる③分けてもらうか、しなければならない。世界銀行は、各グループの出入金の記録をする。また、必要に応じて、やや高めの金額で材料を売ったりお金を貸したりできる。 <u>※売り買いに紙幣を使わない事を強調</u> 。ALTは、各グループが作った製品の品質をチェックし、世界銀行がその製品を受けていいかどうか決定する。質の悪い品物は戻す。各グループの代表は、それぞれ封筒を受け取る。封筒の中には、製品を作るために必要な材料、そしてその国の国名カードがある。子どもたちは中身を確認し、自分の国が世界地図上でどこにあるのかを確認する。	
20分	各グループで製品を作る。	
5分	各グループの結果をまとめ、一番お金を儲けた国を発表する。	
5分	担当教師は「先進国、新興産業国、発展途上国」に関して少し説明を加え、その後子どもたちは、ゲームの印象やどんな気持ちかしたかについて話し、現実の世界とどのように関連しているかを考える。	